

2021年3月26日

株 主 各 位

(本店所在地)
埼玉県川越市竹野10番地1
(東京オフィス(本社))
東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
メトロポリタンプラザビル11階
株式会社オプトラン
代表取締役社長 林 為平

第22期定時株主総会QAサマリーの件

掲題の件、以下の通りお知らせいたします。

【株主総会会場でのご質問及び回答の要旨】

Q1：本社機能を川越市から豊島区に移転させた経緯を説明してほしい。

A1：川越は技術開発の拠点として設置しており、本社機能を移転したのはお客様とのより密接なコンタクトが可能となること、また、地理的制約が減り、弊社経営メンバーの活動がし易くなるためです。

Q2：株主還元について配当性向30%としているが、DOEの採用はしないのか。

A2：弊社は配当性向30%程度を目安にする方針です。但し、業績変動があり利益が上下することがあり、年度利益の一定比率を配当とすることにしています。

Q3：M&Aについて、出資先はないのか。

A3：中長期的な経営課題としてM&Aを実施し企業価値向上を図ることを明確にしており、投資リターンよりも、技術シナジーのある新技術・重要技術を他企業から取得する目的で企業買収を進めてまいります。すでに出資した先はベンチャー等、起業から時間が経過していない先が多く、協力関係を深めて弊社が技術活用出来るよう動いているところです。今後も、新技術で弊社が活用可能な先があれば、出資等の関係づくりをしていきたいと考えています。

Q4：運転資金の考え方について、借入金など特に使っていないが、一定の計算方法などの基準はあるのか。

A4：受注時に前受け金を受領しますので在庫資金手当てはそれほどありませんが、大規模な受注で前受け金が無い場合があり、運転資金を銀行借り入れすることがあります。受注金額にもよるため、適宜、必要運転資金規模を判断し、手元資金および借入により見合い分を調達します。

Q5：単体決算における配当が68億と突出しているのはグループでの役割を見直したことになるものか。

A5：弊社は連結ベースで配当性向30%を目途としており、本社と海外拠点が応分の配当負担をする考えて、海外分につき配当として本社が支払いを受け、株主様に配当をお支払いしています。

Q6：ガバナンスについて、昨年役員定年が導入されたが、指名報酬委員会などの仕組づくりの検討はしているのか。

A6：2021年1月より報酬委員会を設置し、役員報酬を明確化しております。役員報酬は業績に連動しているため、報酬委員会で決議し取締役会で決定しています。有価証券報告書にも記載しステークホルダーの理解を得ることにしております。

Q7：成膜装置部材調達について、受注増により調達できない、あるいは部品価格の上昇が起こりうるが、どのような対策を考えているのか。

A7：部品調達においては材料価格の相場による材料費の上昇が予想されます。他社も同じ部品を使うため、事前確保をするほか、他の調達先の模索、自作などの対策を取っています。

【オンラインでのご質問・ご意見及び回答の要旨(会場でご回答済みの事項)】

ご意見：オンライン総会の参加方法が細かい字で書かれていて分かりにくい。他社では要約した別紙を添付しているので同様にしてもらいたい。また会場の規模からして直接参加が15名は少ないのではと思う。

回答：今回初めてのオンラインでの株主総会を開催するにあたり、短期間での対応であったこともあり完璧ではありませんでした。今後改善し、わかりやすい案内を作成していきます。会場の人数については、感染予防によるソーシャルディスタンスの必要もあり15名とさせていただきました。

Q1：近年従業員数が減っているように見えるが、今後の事業拡大に支障はないのか。

A1：弊社の従業員数について、日本・上海・台湾・Aflyの合計人数が重要になり、有価証券報告書ベースでは従業員数は横ばいであります。上海・台湾・Aflyは優秀な人材の確保をし、今後増加していく見込みです。

Q2：ALD装置の市場拡大について、当初想定と足元の販売状況にギャップはあるのか。今後の受注獲得の広がりをごどのように見込んでいるか。

A2：ALD装置は昨年リリースし、これまでの光学薄膜装置とは違う最先端の装置です。本格受注は昨年後半以降であり、検収・売上は受注してから間をおいて発生します。スマートフォン向け等のALD装置受注は活発ですが、売上は間をおいて反映されます。株主様のご期待に沿った売上を計上できるよう、マーケティングしております。

【オンラインでのご質問・ご意見及び回答の要旨(会場で未回答の事項)】

ご意見1：良い内容だけではなく、悪い内容も開示して欲しい。

回答：引き続き積極的な情報開示を行い、開示ルールに則り適時適切な開示に努めてまいります。

ご意見2：ホームページの内容が専門的であり、専門知識のない株主にも分かるように分かり易くして欲しい。

回答：株主様、投資家の皆様によりご理解いただけるよう、ホームページの内容についても随時検討し改善に努めてまいります。

以上